

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 0 7 回)

2 0 2 3 年 7 月 ~ 9 月 期 実 績

2 0 2 3 年 10 月 ~ 12 月 期 見 通 し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町 3 - 6

TEL 0 2 7 6 (4 5) 2 1 2 1

FAX 0 2 7 6 (4 5) 1 0 8 8

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
（１）設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
（２）業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
（３）全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
（４）比較資料編・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2023年9月
- ② 調査対象期間 今期（2023年7月～9月期）に対する前期（2023年4月～6月期）及び前年同期（2022年7月～9月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	213	78.9 (%)
輸送機器	40	→	34	85.0 (%)
その他製造	40	→	35	87.5 (%)
建設業	50	→	38	76.0 (%)
卸売業	30	→	21	70.0 (%)
小売業	40	→	30	75.0 (%)
サービス業	70	→	55	78.6 (%)

5. D I 値について

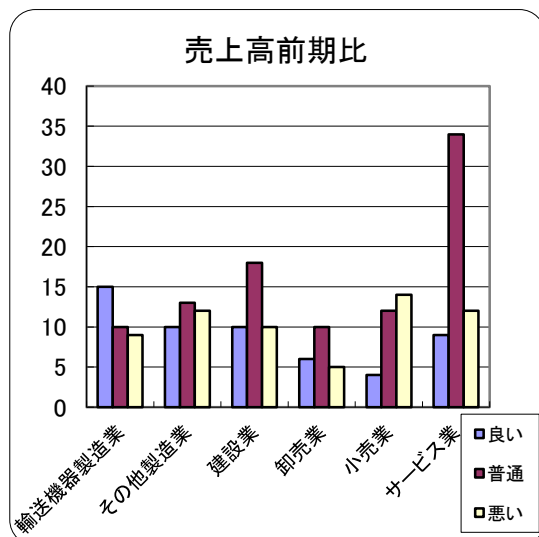
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

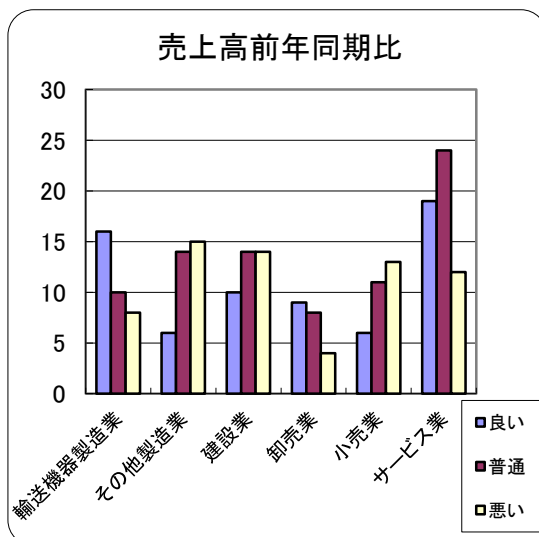
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	15	10	9	34	17.7
その他製造業	10	13	12	35	▲ 5.7
建設業	10	18	10	38	0.0
卸売業	6	10	5	21	4.8
小売業	4	12	14	30	▲ 33.3
サービス業	9	34	12	55	▲ 5.5
合計	54	97	62	213	▲ 3.8



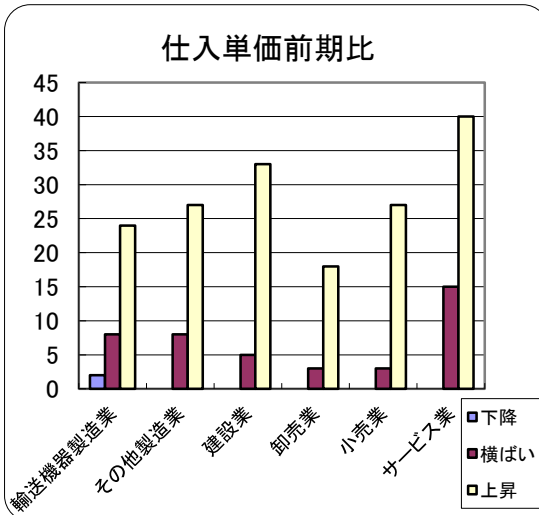
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	16	10	8	34	23.5
その他製造業	6	14	15	35	▲ 25.7
建設業	10	14	14	38	▲ 10.5
卸売業	9	8	4	21	23.8
小売業	6	11	13	30	▲ 23.3
サービス業	19	24	12	55	12.7
合計	66	81	66	213	0.0



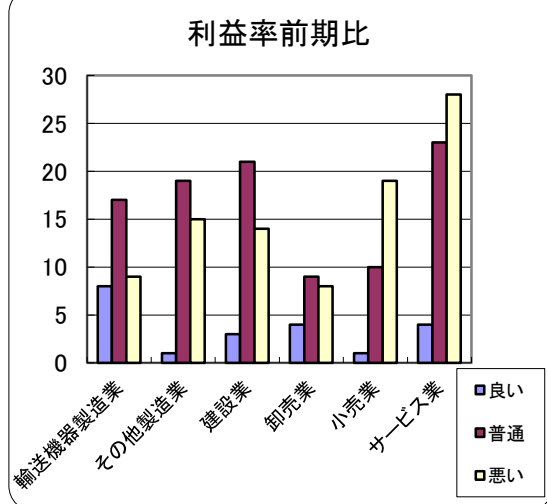
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	2	8	24	34	▲ 64.7
その他製造業	0	8	27	35	▲ 77.1
建設業	0	5	33	38	▲ 86.8
卸売業	0	3	18	21	▲ 85.7
小売業	0	3	27	30	▲ 90.0
サービス業	0	15	40	55	▲ 72.7
合計	2	42	169	213	▲ 78.4



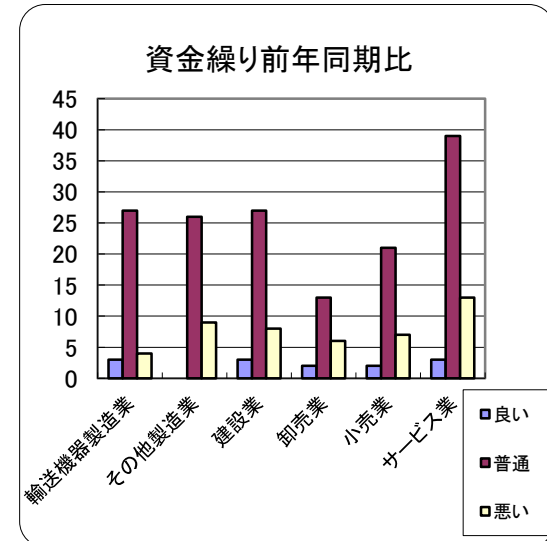
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	17	9	34	▲ 2.9
その他製造業	1	19	15	35	▲ 40.0
建設業	3	21	14	38	▲ 29.0
卸売業	4	9	8	21	▲ 19.1
小売業	1	10	19	30	▲ 60.0
サービス業	4	23	28	55	▲ 43.6
合計	21	99	93	213	▲ 33.8



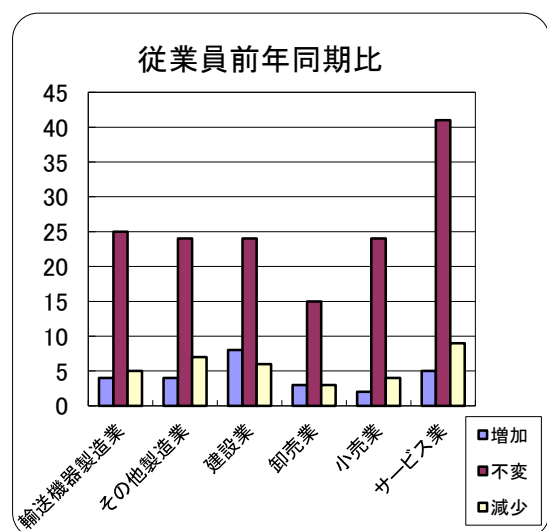
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	27	4	34	▲ 2.9
その他製造業	0	26	9	35	▲ 25.7
建設業	3	27	8	38	▲ 13.2
卸売業	2	13	6	21	▲ 19.1
小売業	2	21	7	30	▲ 16.7
サービス業	3	39	13	55	▲ 18.2
合計	13	153	47	213	▲ 16.0



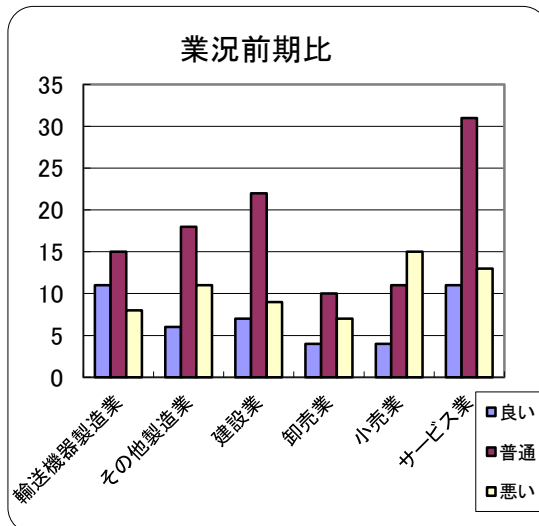
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	4	25	5	34	▲ 3.0
その他製造業	4	24	7	35	▲ 8.6
建設業	8	24	6	38	5.3
卸売業	3	15	3	21	0.0
小売業	2	24	4	30	▲ 6.7
サービス業	5	41	9	55	▲ 7.3
合計	26	153	34	213	▲ 3.8



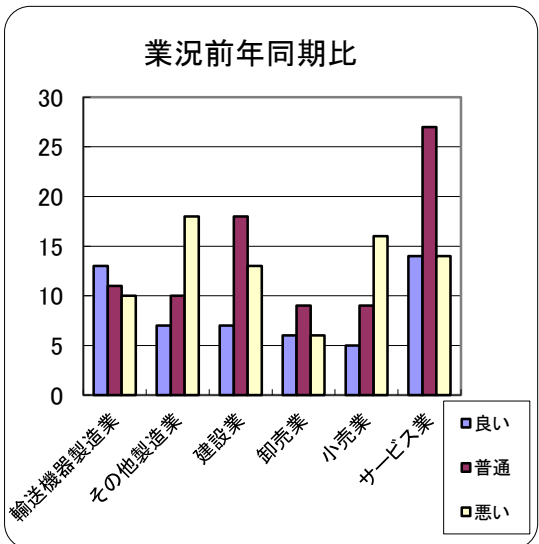
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	15	8	34	8.8
その他製造業	6	18	11	35	▲ 14.3
建設業	7	22	9	38	▲ 5.3
卸売業	4	10	7	21	▲ 14.3
小売業	4	11	15	30	▲ 36.7
サービス業	11	31	13	55	▲ 3.6
合計	43	107	63	213	▲ 9.4



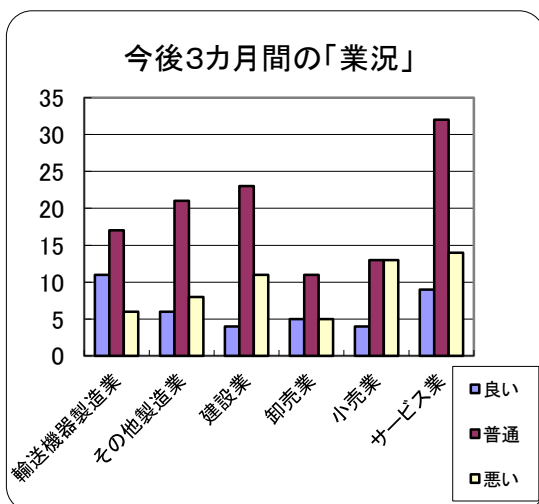
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	11	10	34	8.8
その他製造業	7	10	18	35	▲ 31.4
建設業	7	18	13	38	▲ 15.8
卸売業	6	9	6	21	0.0
小売業	5	9	16	30	▲ 36.7
サービス業	14	27	14	55	0.0
合計	52	84	77	213	▲ 11.7



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	17	6	34	14.7
その他製造業	6	21	8	35	▲ 5.7
建設業	4	23	11	38	▲ 18.4
卸売業	5	11	5	21	0.0
小売業	4	13	13	30	▲ 30.0
サービス業	9	32	14	55	▲ 9.1
合計	39	117	57	213	▲ 8.5



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	12.5	17.7	5.2
売上高前年同期比	15.6	23.5	7.9
仕入単価前期比	▲ 75.0	▲ 64.7	10.3
利益率前期比	▲ 9.4	▲ 2.9	6.5
資金繰り前年同期比	▲ 6.3	▲ 2.9	3.4
従業員前年同期比	0.0	▲ 3.0	▲ 3.0
業況前期比	9.4	8.8	▲ 0.6
業況前年同期比	6.3	8.8	2.5
今後3ヶ月間の業況見通し	9.4	14.7	5.3

[企業コメントより]

- ・売上が減少している【制動機部品等】
- ・設備の更新により、付属部品の受注が増えて売上が増加した【部品加工】
- ・2023.2～4月 いすゞのフルモデルチェンジで売上は増加しました。
- ・2023.9～24.1月 スバルのフルモデルチェンジで売り上げが増加すると思います。
樹脂ブロックの販売店の担当者がリーマンショックより悪いと言っています。
排気系、タンクのお客様からの受注はコロナ以降ゼロ【部品加工用型・治具】
- ・半導体不足の解消、コロナ禍から経済の再開による消費の回復【内外装・樹脂部品】
- ・新規取引先での生産がスタートしたため売上高向上。しかしながら人材が不足しており、人材確保が課題である。また取引先での半導体不足やライン停止により生産調整対応が大きく影響している。物は全体的には流れている感じがある【金属管加工】
- ・自動車生産が今のところ正常化している【内装部品】
- ・自動車の生産が回復して来た【樹脂成型加工】

その他製造業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.6	▲ 5.7	2.9
売上高前年同期比	▲ 22.9	▲ 25.7	▲ 2.8
仕入単価前期比	▲ 82.9	▲ 77.1	5.8
利益率前期比	▲ 14.3	▲ 40.0	▲ 25.7
資金繰り前年同期比	▲ 20.0	▲ 25.7	▲ 5.7
従業員前年同期比	▲ 11.4	▲ 8.6	2.8
業況前期比	▲ 8.6	▲ 14.3	▲ 5.7
業況前年同期比	▲ 31.4	▲ 31.4	0.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.6	▲ 5.7	2.9

[企業コメントより]

- ・原料の入荷遅れによる納品時期の遅延【ニット製品製造】
- ・受注の回復【板金加工】
- ・年末から開発に動きがある模様【省力化機械設備】
- ・コロナ後の経済活動の変化により、需要が前年から減少。仕入価格の上昇も続いているため製品値上げを実施し、利益率の確保を図る【冷暖房機器】
- ・仕入れ価格やエネルギーコストの高止まりが続く状況の中、値上げが認められ徐々に粗利益率が1年前に戻りつつある。今後は更なる円安が見込まれることから、より一層値上げが求められると推察します【食料品製造】

- ・コロナ禍で落ち込んだ売上が、更に年々悪化している。それにプラスして6月からコロナ融資の返済の開始で資金繰りが苦しくなっている。プラスチック材料の値上げや必要な消耗品の値上げなど、出ていくお金は多いが、見積価格を上げると仕事自体決まらないので困っている。同業者間での話もこの状態が続くと会社を存続できないという話が多い。特に昨年からの売上減少が苦しいので、何か手を打たないと存続が難しい【樹脂製品加工】

建設業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 24.4	0.0	24.4
売上高前年同期比	▲ 17.1	▲ 10.5	6.6
仕入単価前期比	▲ 82.9	▲ 86.8	▲ 3.9
利益率前期比	▲ 39.0	▲ 29.0	10.0
資金繰り前年同期比	▲ 12.2	▲ 13.2	▲ 1.0
従業員前年同期比	4.9	5.3	0.4
業況前期比	▲ 31.7	▲ 5.3	26.4
業況前年同期比	▲ 24.4	▲ 15.8	8.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.1	▲ 18.4	15.7

[企業コメントより]

- ・繰越工事は多いが、全体の着工が遅れているため、売上高は減少している【総合建設】
- ・現在、われわれの経済は過渡期にあると感じられます。全世代で労働意欲の低下と各業種の人員不足が問題となっています。仕入価格の上昇により、多くが収入の不足を感じ、エネルギーコストの上昇も不安要因として存在している気がします【建築付帯設備】
- ・少しずつ全項目増加傾向を迎えつつあり、一息ついている所です【電気工事】

卸売業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.0	4.8	14.8
売上高前年同期比	15.0	23.8	8.8
仕入単価前期比	▲ 75.0	▲ 85.7	▲ 10.7
利益率前期比	▲ 20.0	▲ 19.1	0.9
資金繰り前年同期比	▲ 10.0	▲ 19.1	▲ 9.1
従業員前年同期比	▲ 5.0	0.0	5.0
業況前期比	▲ 15.0	▲ 14.3	0.7
業況前年同期比	5.0	0.0	▲ 5.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 10.0	0.0	10.0

[企業コメントより]

- ・スポット的な受注に助けられた部分はあるが、全体的に流れが悪い。先々の情報が乏しく苦戦【電気設備資材卸】
- ・市場の成長性と営業マンのエリアの見直しとプラン&レビューの教育の徹底を図った【医療器関連卸】
- ・住宅リフォーム支援事業補助金制度について、補助金支援を一度受けたことで10年間長期間出来ない次第です。補助金受ける方が年々減少状況が続いています。10年間の長期間でなく3年～5年に改善できたらと思います。同じ様なことが10年間続いています【住宅設備機器】
- ・ガソリン代など移動コストの上昇に対し、売上単価・粗利が変わらないことに加え、買い控えを感じます【フランチャイズ】
- ・令和5年10月より酒税法改正に伴い、9月は商品の仮需が発生し売上増加見込み。10月からは裏返しにて減少傾向見通し【飲料卸】

小売業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 31.0	▲ 33.3	▲ 2.3
売上高前年同期比	▲ 37.9	▲ 23.3	14.6
仕入単価前期比	▲ 96.6	▲ 90.0	6.6
利益率前期比	▲ 69.0	▲ 60.0	9.0
資金繰り前年同期比	▲ 37.9	▲ 16.7	21.2
従業員前年同期比	0.0	▲ 6.7	▲ 6.7
業況前期比	▲ 34.5	▲ 36.7	▲ 2.2
業況前年同期比	▲ 44.8	▲ 36.7	8.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 44.8	▲ 30.0	14.8

[企業コメントより]

- ・コロナ対策の制限がなくなり業況としては上向きと感じられる。他業界、他社が人員の採用を高い給与設定で一度に始めた為、パート・アルバイト人員の不足が緊急の課題となっている。…利益圧迫の原因となっている【アクセサリー・化粧品販売】
- ・売上は前期や前年同期と比べて良いが、仕入単価・販売単価が上がったので、実質的な売上アップはそれほどでもない(微増)【飲料販売】
- ・夏が暑かったので飲料が増加した。地域の行事も始まり売り上げは伸びた【飲料販売】
- ・状況変わらず【米穀販売】

サービス業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	11.1	▲ 5.5	▲ 16.6
売上高前年同期比	5.6	12.7	7.1
仕入単価前期比	▲ 72.2	▲ 72.7	▲ 0.5
利益率前期比	▲ 38.9	▲ 43.6	▲ 4.7
資金繰り前年同期比	▲ 24.1	▲ 18.2	5.9
従業員前年同期比	▲ 9.3	▲ 7.3	2.0
業況前期比	▲ 3.7	▲ 3.6	0.1
業況前年同期比	▲ 14.8	0.0	14.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 11.1	▲ 9.1	2.0

[企業コメントより]

- ・売上高増加 → 2022年10月より新規営業所稼働のため。
- ・仕入単価上昇 → 燃料単価上昇のため【運送業】
- ・自動車用の半導体等の部品不足はほぼ解消したが、世界的な物流の乱れ、停滞などが影響して、コロナ前の水準にはまだ戻っていない【陸送業】
- ・資金繰りに苦慮しています。金融機関の貸し渋り？【運輸業】
- ・少しずつですが昼間の客足は戻って来ていますが、夜は本当に早めに終わってしまいます。【レストラン】
- ・物価や原材料増加による予算圧迫【広告制作】
- ・昨年の12月から今年の8月まで連続売上昨年比100%越えとなっている。9ヶ月で113%増となった。コロナ前のようなご利用に戻りつつあるのではないかな。そうはいつでも、夜8時以降でのご来店は土日とはまったく平日はあまり回復していない。
売上は戻りつつあるが、原材費、人件費光熱費の上昇も大変悩ましいところだ。
10月に最低賃金が上がるので、それに合わせてスタッフの時給を上げる予定だ。
今年の3月に全メニューの値上げをしたが、次にいつ値上げをしようか、どのくらい上げるのかをぼんやりとでも考えておかないといけないかと思う【レストラン】
- ・お弁当(寿し)の配送が遠くなって来つつあり、ガソリンの高止まり等で商売はやりにくい【和食品製造販売】

- ・宴会受注は前期に比べ若干の回復はみられます。しかしケータリング部門は依然厳しい状況です【飲食サービス】
- ・令和5年度に入ってから自動車産業の生産数量が上がらない。そのため発生するはずのスクラップも発生量が上がらない。まだ令和4年度の方が発生量は多かった。生産する為の部品(不足)が解消されつつあるはずなのに、なぜ生産数量が上がらないのか。一部ではトヨタ下請の金型メーカーの追い上げ生産が見込まれているので、今後下期は期待したい【資源回収再生】
- ・コロナ売り上げ(まん延に起因する事業所等の清掃需要)が減った上での売上減少なので、通常になったと思えば良い方向になっている【清掃品物販】
- ・昨年8月より新聞チラシを配布し、少し新規客が増加している。光熱費が上昇しているので利益率が少し悪化【美容業】
- ・仕入原価や水道光熱費は上がったが、料金を値上げした為、利益は変わらなかった【理容業】
- ・人件費を上げても人が入ってこない。人手不足【居酒屋】
- ・家計が苦しくなり教育費支出が減っているのではないかと感じる【教育サービス】
- ・コロナの影響も少なくなり、気兼ねなくご来店していただける様になってきたので、(来店の)サイクルが短くなってくれればと思いますが、スタグフレーション(景気後退時の物価上昇)を危惧しています【美容業】

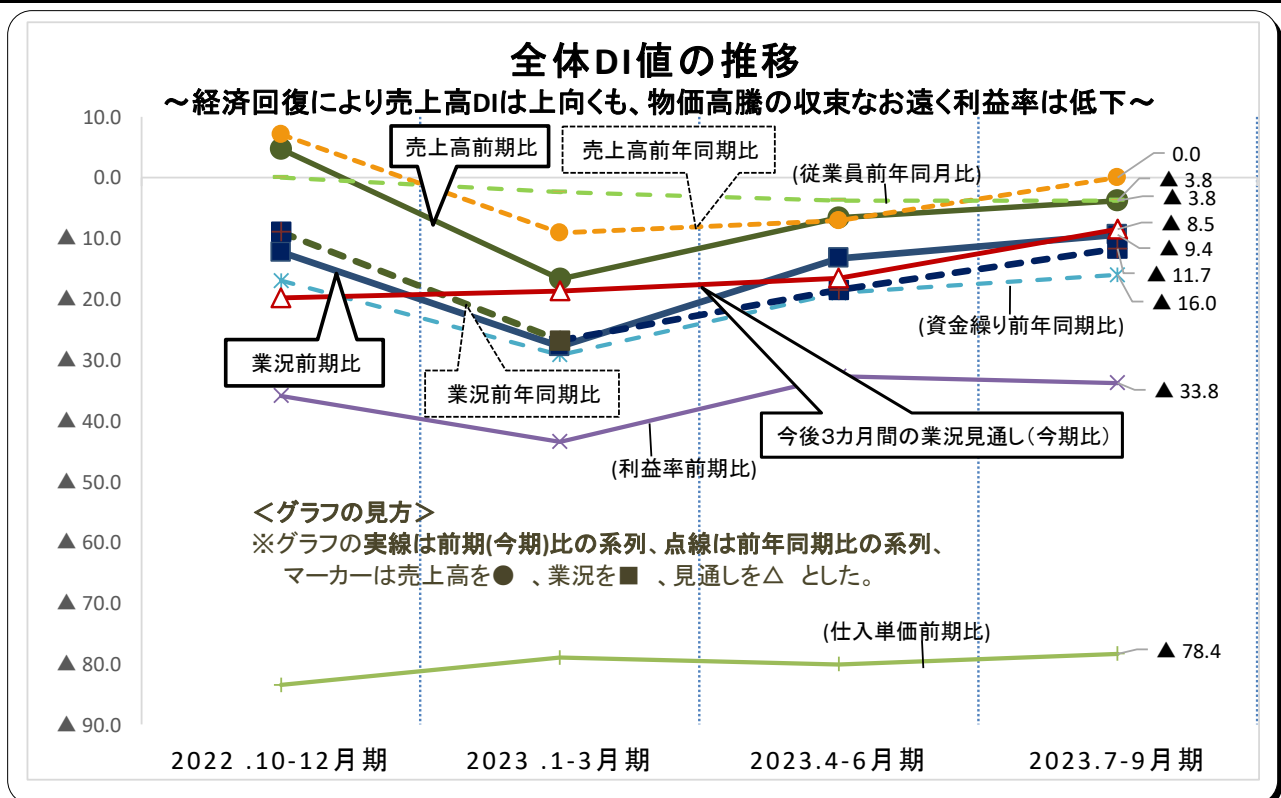
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 6.6	▲ 3.8	2.8
売上高前年同期比	▲ 7.1	0.0	7.1
仕入単価前期比	▲ 80.1	▲ 78.4	1.7
利益率前期比	▲ 32.7	▲ 33.8	▲ 1.1
資金繰り前年同期比	▲ 19.0	▲ 16.0	3.0
従業員前年同期比	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0
業況前期比	▲ 13.3	▲ 9.4	3.9
業況前年同期比	▲ 18.5	▲ 11.7	6.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.6	▲ 8.5	8.1

(4) 動向について

- ・7～9月期の全産業ベースの業況DIは前期比3.9ポイント上昇。但し建設業の26.4ポイントの大幅上昇を除けば、他業種は小幅な増減にとどまっており、トレンドは横ばい。
- ・売上DIは全産業ベースで前期比+2.8ポイント、前年同期比+7.1ポイントと概ね上昇傾向にあるが、物価高・コスト増は依然厳しく、利益率DIは全指標中唯一低下した。
- ・一方、今後3カ月の業況見通しDIでは、全産業ベースで8.1ポイント上昇。全業種において今期比プラスの予想となっている。

全 体 D I 値 の 推 移	2022 .10-12月期	2023 .1-3月期	2023.4-6月期	2023.7-9月期
売上高前期比	4.7	▲ 16.7	▲ 6.6	▲ 3.8
売上高前年同期比	7.1	▲ 9.1	▲ 7.1	0.0
仕入単価前期比	▲ 83.5	▲ 79.0	▲ 80.1	▲ 78.4
利益率前期比	▲ 35.9	▲ 43.5	▲ 32.7	▲ 33.8
資金繰り前年同期比	▲ 17.0	▲ 29.2	▲ 19.0	▲ 16.0
従業員前年同期比	0.0	▲ 2.4	▲ 3.8	▲ 3.8
業況前期比	▲ 12.3	▲ 27.8	▲ 13.3	▲ 9.4
業況前年同期比	▲ 9.0	▲ 26.8	▲ 18.5	▲ 11.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.8	▲ 18.7	▲ 16.6	▲ 8.5



(5)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	5.8	▲ 9.1	－	－
建設業	0.0	▲ 10.0	－	－
卸売業	4.8	▲ 5.1	－	－
小売業	▲ 33.3	▲ 11.1	－	－
サービス業	▲ 5.5	3.6	－	－
全 体	▲ 3.8	▲ 4.9	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 1.4	－	8.1	2.1
建設業	▲ 10.5	－	▲ 9.0	1.0
卸売業	23.8	－	▲ 1.2	
小売業	▲ 23.3	－	1.6	
サービス業	12.7	－	17.7	1.3
全 体	0.0	－	5.4	

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 71.0	－	▲ 67.4	－
建設業	▲ 86.8	－	▲ 74.4	－
卸売業	▲ 85.7	－	▲ 61.7	－
小売業	▲ 90.0	－	▲ 72.7	－
サービス業	▲ 72.7	－	▲ 66.6	－
全 体	▲ 78.4	－	▲ 68.7	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 21.7	▲ 20.4	▲ 12.2	▲ 2.5
建設業	▲ 29.0	▲ 27.0	▲ 24.0	▲ 1.5
卸売業	▲ 19.1	▲ 16.5	▲ 16.8	
小売業	▲ 60.0	▲ 32.0	▲ 15.9	
サービス業	▲ 43.6	▲ 17.6	▲ 4.5	▲ 1.7
全 体	▲ 33.8	▲ 22.9	▲ 13.4	

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 14.5	▲ 11.8	▲ 13.2	7.0
建設業	▲ 13.2	▲ 8.3	▲ 7.6	13.0
卸売業	▲ 19.1	▲ 7.1	▲ 9.9	
小売業	▲ 16.7	▲ 17.3	▲ 17.4	
サービス業	▲ 18.2	▲ 8.4	▲ 9.1	11.0
全 体	▲ 16.0	▲ 11.3	▲ 11.7	

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 5.8	▲ 3.1	—	—
建設業	5.3	▲ 4.9	—	—
卸売業	0.0	0.1	—	—
小売業	▲ 6.7	▲ 3.5	—	—
サービス業	▲ 7.3	▲ 3.6	—	—
全 体	▲ 3.8	▲ 3.4	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 2.9	▲ 13.5	—	▲ 5.0
建設業	▲ 5.3	▲ 10.6	—	12.0
卸売業	▲ 14.3	▲ 7.3	—	9.0
小売業	▲ 36.7	▲ 21.7	—	9.0
サービス業	▲ 3.6	▲ 6.3	—	23.0
全 体	▲ 9.4	▲ 12.8	—	5.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

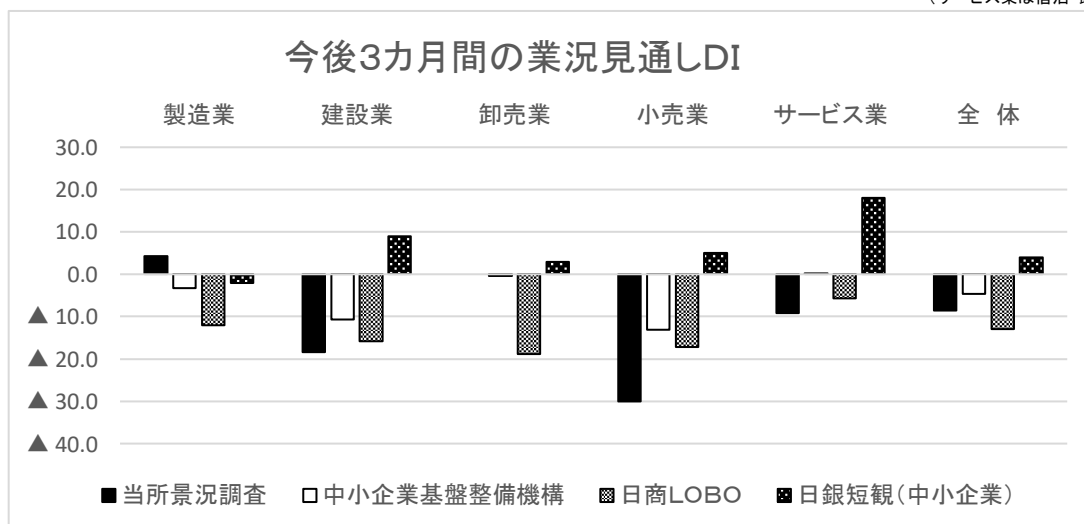
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.6	—	▲ 6.1	—
建設業	▲ 15.8	—	▲ 18.2	—
卸売業	0.0	—	▲ 21.1	—
小売業	▲ 36.7	—	▲ 13.5	—
サービス業	0.0	—	2.0	—
全 体	▲ 11.7	—	▲ 9.2	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	4.3	▲ 3.2	▲ 12.1	▲ 2.0
建設業	▲ 18.4	▲ 10.7	▲ 15.9	9.0
卸売業	0.0	▲ 0.4	▲ 18.9	3.0
小売業	▲ 30.0	▲ 13.1	▲ 17.2	5.0
サービス業	▲ 9.1	0.2	▲ 5.7	18.0
全 体	▲ 8.5	▲ 4.6	▲ 12.9	4.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2023年（令和5年）10月25日 発行